

UDB

UCHU-DRINK-BASE
宇宙飲料基地

宇宙ジン、現ル。



宇宙GIN

| | |
|-------|----------------------|
| 200ml | 3,600 円 (税込 3,960 円) |
| 500ml | 6,300 円 (税込 6,930 円) |
| 700ml | 9,000 円 (税込 9,900 円) |





暗闇で光り 宇宙への思いを馳せる

宇宙GINのラベルには、光を蓄えて暗闇で光る蓄光印刷が施されています。一定時間、日光や蛍光灯の下に置いておくと、暗闇で光ります。部屋のライトを突然消した時など、真っ暗な状態ほどよく発光します。暗さの程度によって発光が変わるため、さまざまな場所で試しながらお楽しみください。

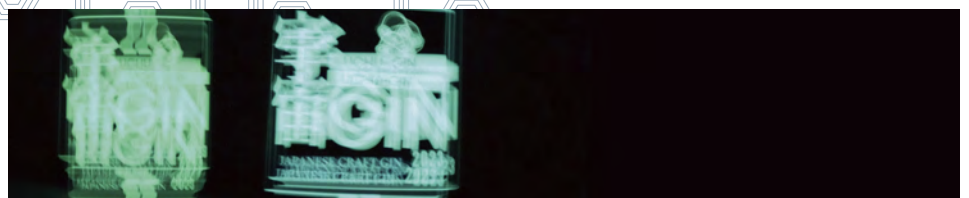
試し方によっては、発光惑星がダークマターを包み込んでいるように見えるかもしれません。また、同じラベルでも時には緑や青に光るなど、発光の変化も楽しめます。アウトドアでの空間演出にもぴったりかもしれません。

*左の写真は光の入らない部屋でiphone14 proで撮影した宇宙GINです。



発光する宇宙GINと夜空のイメージです。ナイトキャンプや天体観測など、夜空を見上げる機会に宇宙GINを連れて行ってください。

LEFT PHOTO: UnsplashのJonathan Forage
LIGHT PHOTO: UnsplashのCedric Letsch



ワレワレ ガ ウチュウジンヲ カンガエマシタ

旅する蒸留所 GINPSY (ジンプシー) は、キャリアが全く異なる社会人が興味と熱意をもって集まり、「クラフトジン」を通じて全国各地の魅力を発信する活動を行っています。また、生産設備を持たない彼らは、全国の蒸留所とコラボレーションし、オリジナルのクラフトジンを開発・販売する集団です。このGINPSYと、独自の化学技術を持つユニークかつユニバーサルな化学会社、ユニケミーが協力して、宇宙GINを世に送り出しました。

ユニケミーは、名古屋市にある熱田神宮の近くで50年以上にわたり理化学分析を手掛ける会社です。宇宙GINに配合されている『ASTRONAUTS WATER』(アストロノートウォーター)は、2011年にこうのとりの2号機で初めて日本からISS(国際宇宙ステーション)へ運ばれ、宇宙飛行士の生活水として使用された水の原水です。ユニケミーは、この水をISSへ運ぶプロジェクトに参加していました。

宇宙GINは、宇宙へ旅した『ASTRONAUTS WATER』をベースに、ジュンパーベリーの香りを際立たせるシンプルなレシピで仕上げられています。



ワレワレガウチュウジンヲカンガエマシタ
Ginpsy & UNICHEMY



旅する蒸留所 GINPSY
<https://ginpsy.jp/>

